

contents

- ・新年のご挨拶
- ・最新の循環器用超音波診断装置を導入
- ・年末年始の診療記録
- ・診療科紹介
(乳腺外科 / 腎臓内科)
- ・ヘリポートを運用
- ・院内コンサートを開催
- ・病院 HP アンケートのお願い
- ・公開講演会のご案内



【杏林大学医学部付属病院】
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel. 0422-47-5511 (代表)
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

■新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。穏やかな初春をご家族お揃いでお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、長い間ご不便をおかけしていた病棟の整備も終わり、外来棟 1 階から延びた中央通りはアートギャラリー、患者待合スペース、カフェ、患者図書室などが充実し「やすらぎ」の空間となりました。2 月に導入された電子カルテも大きな混乱なく稼働しています。脳卒中センターでは脳梗塞に対する低侵襲の治療である急性期 t-PA 療法を 36 例実施しました。もの忘れセンターは、東京都が地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図り設置した「認知症疾患医療センター」に登録されました。これから更に杏林大学病院を利用される患者さんを地域で支える体制の整備をすすめていきたいと思っております。新しい放射線治療装置、320 列 CT など、最新の医療機器の更新・導入も継続的に行っており、診療科の枠を超えた各種センターの充実にも努力しています。このように病院機能は毎年着実に進歩していると確信しております。また、12 月に受審した、第 3 世代 Ver.1.0 の病院機能評価では高い評価を得ることが出来ました。特に病院職員が明るい雰囲気の中、一体となって活動している様子が印象的であったとのコメントを頂きました。

杏林大学病院は、利用される方々の心が癒される空間にしていきたいと願っています。この基本的な考えを、今後も皆様のご協力を頂いて更に発展させる事が出来ればと切望しております。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年も皆様が多幸でありますようにお祈り申し上げます。

杏林大学医学部付属病院
病院長 甲能直幸

－ 年末年始の診療記録 －

昨年 12 月 28 日夕方から本年 1 月 4 日朝までの年末年始期間中にけがや急病で病院に来院された患者さんは 1,684 人でした。前回同時期と比較して 156 人増加しました。



平成 25 年度		
患者数 (人)		1,684
救急車 台数	1・2 次	123
	3 次	30
3 次救急患者数 (人)		34

診療科名	ATT	内科系	外科系	精神神経科
患者数	528	120	25	2
診療科名	小児科	小児外科	脳神経外科	心臓血管外科
患者数	252	6	45	4
診療科名	整形外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科
患者数	151	119	90	74
診療科名	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	SCU
患者数	110	117	22	19

合計：1,684 人

◆最新の循環器用超音波診断装置を導入



生理機能検査室に最新の超音波診断装置 (PHILIPS 社製 EPIQ7) を導入しました。この装置は昨年 11 月に日本での販売が認められ、大学病院としては当院が初めての導入になります。

今回導入した超音波診断装置は心臓機能検査・心臓手術において術前、術中、術後に心臓の状態を精査・診断するために使用する機器です。画像描出力や操作性等が従来のものよりも優れていて、診断精度の向上が期待されます。

具体的な特徴として、探触子が改良され、高画質を実現、ノイズの低減や画像化が難しい弱い信号を画像化することが可能になりました。また、2 次元画像だけでなく、3 次元画像をリアルタイムに表示することができたり、従来不可能だった正確な直交断面の描出、同一心拍での評価が可能になったり、より高精度で客観性のあるデータを得ることができるようになりました。

診療科紹介

◆ 乳腺外科

昨年10月に京都大学から上野貴之先生が講師として赴任し、井本滋教授を始め6名のスタッフで診療にあたっています。

地域の先生方からは、いつも検診異常や乳房に異常を認める多くの患者さんをご紹介頂き大変感謝しております。

当科では、切除せずに乳癌の治療を行う「ラジオ波焼灼術」の臨床試験を継続して行っています。その他、センチネルリンパ節生検に関する多施設共同試験、日本国内の主要な乳腺専門施設が登録しているBCOGやBCOGなどが支援する種々の薬剤に関する多施設共同臨床試験に参加しています。また当科を中心に多摩地区の乳腺専門施設にご参加頂き、多摩地区から世界に発信出来る様な臨床試験も実施しています。

一方、2012年3月に設立されたオンコプラステックサージャリー学会にも参加し、形成外科とチームを組んで保険適応となった良質のシリコンインプラントを使用した乳房再建術も積極的に行っています。これからも、地域の先生方により質の高い医療の提供とエビデンスの発信が出来るように日々努力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

◆ 腎臓・リウマチ・膠原病内科

当科では腎臓病、リウマチ・膠原病、血液透析の患者さんの入院・外来診療を行っています。

腎臓外来では、毎週月曜から土曜まで、ご紹介患者さんを受付けています。入院を必要とする重症腎不全の方から、軽症のCKD患者さんや検診で尿検査異常を指摘された方の精査依頼も受けています。腎臓学会が推奨するCKD診療では、腎機能の悪化防止に加え、心血管病発症予防の見地から、病診連携が推奨されています。当科でもこの趣旨に沿って、地域の先生方と連携して精査や定期検査などを分担させていただいています。また、腎疾患患者さんを対象とした腎臓教室も実施しています。ここでは栄養指導、腎代替療法、腎疾患患者さんの利用できる社会資源など多職種から説明しています。個々の病態に沿った個人指導と集団指導があり、教室への参加を目的とした紹介も受付けています。また、三鷹市・三鷹市医師会のご後援をいただ



公開講演会・シンポジウムのご案内

緩和ケア講演会

日時：2月10日（月）18:00～20:00
場所：杏林大学 大学院講堂
演者：順天堂大学医学部附属順天堂医院緩和ケア副センター長 井上大輔氏
演題：緩和ケアとがん疼痛に対する神経ブロック治療の進歩

連携4大学合同公開シンポジウム

日時：3月29日（土）13:30～16:30
場所：杏林大学 大学院講堂
演者：杏林大学消化器・一般外科 正木忠彦教授
東京女子医科大学化学療法・緩和ケア科 林和彦教授、他
演題：東京都における都市型がん診療を考える
第1部 難治がんの治療戦略
第2部 都市型がん診療の課題と取り組み

※いずれも入場無料・申込不要ですので、直接会場へお越しください。

ヘリポートを初めて運用

1月6日（月）、遠隔地の病院での緊急手術支援のため、第3病棟屋上のヘリポートが初めて運用されました。

ヘリポートが実際に運用されたのは、2012年10月に第3病棟が開設されて以来初めてですが、開設直後や昨年2月に患者搬送の模擬訓練を行ってきたおり、今回極めてスムーズに搬送が行われました。



院内コンサートを開催

昨年12月21日（土）、桐朋学園大学音楽学部による院内コンサートが外来棟待合ホールで行われました。コンサートは毎回大盛況で、今回も入院患者さんやお見舞いいらつしやうした方など約120名が会場に集まり、美しい音色に耳を澄ませていました。

次回は60回目となる記念のコンサートで、4月5日（土）午後3時半から開催します。



杏林大学病院ホームページアンケートにご協力をお願いします

当院は、ご利用いただいております皆様へ病院ホームページアンケートを実施中です。アンケートは匿名となっております。回答内容によって診療などに影響を与えることは一切ありません。なお、集計結果を当院ホームページや刊行物にて利用させていただきます。アンケートは杏林大学病院ホームページのトップ画面「杏林大学病院ホームページ アンケートのご協力をお願いします」から入力画面に進みます。

URL http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/introduction/news_detail-787.shtml

